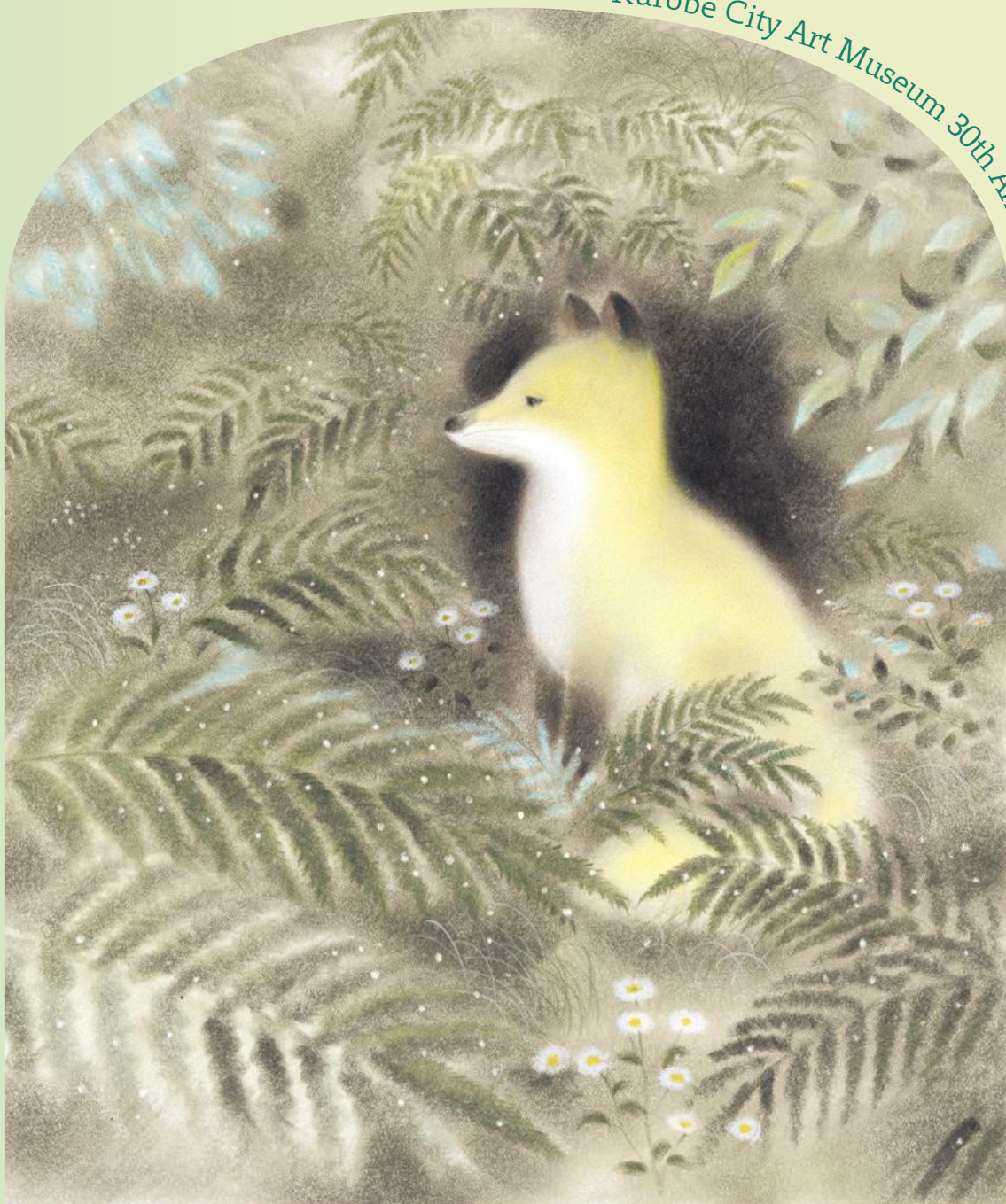


— 画業 50 年のあゆみ —

黒井 健 絵本原画展

Kurobe City Art Museum 30th Anniversary Exhibition : Celebrating 50 Years of Ken Kuroi's Paintings.



「ごんぎつね」より © Ken Kuroi

2024年4月27日(土) — 6月23日(日)

開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日 月曜日(但し4月29日、5月6日は開館)4月30日、5月1日・7日・8日

観覧料 一般700円(600円)、高校・大学生500円(400円)、中学生以下無料

* ()内は20名様以上の団体料金

* 障害者等手帳をお持ちの方と付き添い1名は無料となります(受付で手帳を提示してください)

主催 黒部市美術館

共催 北日本新聞社

後援 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらいTV、新川コミュニティ放送

協力 黒井健絵本ハウス

企画制作 オフィス渋谷



黒部市美術館

— 画業 50 年のあゆみ —

黒井 健 絵本原画展

Kurobe City Art Museum 30th Anniversary Exhibition :
Celebrating 50 Years of Ken Kuroi's Paintings.



「手ぶくろを買いに」より



「あきいろのころわん」より



「まっくら」より



「ころわんとふわふわ」より



「うまれてきてくれてありがとう」より



「ふるさとへ」より
© Ken Kuroi

絵本画家・イラストレーターとして長きにわたり第一線で活躍してきた黒井健(1947～)の画業50周年を記念する個展を開催します。新潟県出身の黒井は東京の出版社で絵本の編集に携わったのち、イラストレーターとして独立。1976年に初めての絵本『あめってあめ』(矢崎崎夫・作)を出版して以降、新美南吉の『ごんぎつね』や『手ぶくろを買いに』、宮沢賢治の『猫の事務所』、間所ひさこの『ころわん』シリーズなど、300冊以上の児童文学や絵本の挿絵を描き続けてきました。また挿絵だけでなく自ら文章を書いた『ミシシッピ』などの画集も出版しています。

本展ではこうした代表作のほか、初期に手掛けた貴重なカットから、子供の創造力とは何かを問いかけ話題となった『まっくら』(高崎卓馬・作)などの近作絵本の原画を通して、長く愛され続けてきた黒井健の世界の魅力に迫ります。優しい色彩の原画とともに心豊かな時間をお過ごしいただけましたら幸いです。

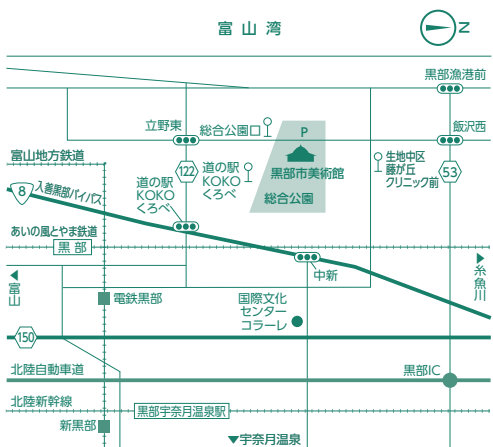
関連行事

○オープニングセレモニー
日時:4月27日(土)10:00～
会場:黒部市美術館
*予約不要(観覧券が必要ですが、定員なし)

○黒井健 サイン会
日時:4月27日(土)10:30～
会場:黒部市美術館
*要予約(観覧券が必要ですが、定員70名)

予約先 黒部市美術館 TEL/FAX 0765-52-5011(月曜休館)

お一人様一冊、会場でご購入いただいた絵本にサインします
(会場は現金のみのお取り扱いとなりますので予めご了承くださいませ)



- ◎混雑時には入場を制限させていただく場合もございます。
- ◎5月25日(土)・26日(日)は、カーター記念黒部水マラソンの為、美術館周辺の混雑が予想されます。ご来館の際はご注意ください。
- ◎黒部市立あーよ図書館、黒部市吉田科学館において、本展関連事業を予定しています。詳細は決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

- | | |
|---|---|
| ○あいの風とやま鉄道[黒部駅]から | ○北陸新幹線[黒部宇奈月温泉駅]から |
| タクシー 約7分 | タクシー 約20分 |
| バス 石田三日市線北ルート(平日のみ)
「総合公園口」下車 徒歩5分 | 電車&バス 富山地方鉄道[新黒部駅]富山方面→
「電鉄黒部駅」→バス 生地循環線
道の駅KOKOくらべ行き、
「道の駅KOKOくらべ」下車 徒歩9分 |
| 生地循環線 道の駅KOKOくらべ行き
「道の駅KOKOくらべ」下車 徒歩9分 | |

詳細は、黒部市内全域公共交通マップホームページをご参照ください
<http://www.kurobe-koukyoukoutsuu.jp/map/>



黒部市美術館

〒938-0041
富山県黒部市堀切1035
TEL/FAX 0765-52-5011